

令和7年度第3回名取市協働事業審査会

- 1 日 時 令和7年12月18日(木) 13時30分～15時00分
- 2 場 所 市役所6階 第1会議室
- 3 出席者 秋月委員長、奈良委員、太田委員、小松委員、山家委員
事務局：小平部長、浅野課長、佐藤補佐、小畑主幹、八巻
欠席者 中島委員、安倍委員
- 4 会議概要 下記のとおり

-
- 1 開 会 進行：佐藤補佐
 - 2 あいさつ 秋月委員長
 - 3 審査説明(報告プレゼンテーション)
 - 4 議 題
 - (1) 令和6年度採択(令和7年度実施)名取市協働提案事業実施報告プレゼンテーションについて
 - (2) 令和6年度採択(令和7年度実施)名取市協働提案事業評価審査
 - 5 その他
 - 6 閉 会

-
- 4 議 題
 - (1) 令和6年度採択(令和7年度実施)名取市協働提案事業実施報告プレゼンテーションについて

〈プレゼンテーション〉

I 特定非営利活動法人地星社 (協働する課：市民協働課)

名取市協働提案事業の事業報告書及び実績を示す写真及び名取市協働提案事業評価シートに基づいて報告プレゼンテーションを行った。

〈質疑応答〉

委員：参加者の学年や男女なの内訳を教えてください。

団体：男子4名、女子5名です。学年は、小学生4人、中学生3人、高校生2人です。

委員：いくつのグループに分かれて活動したのか。どのような参加動機だったのか。

団体：グループは3～4つです。参加の動機については、何か面白いことをしたい、探究学習で学んだゴミのポイ捨て防止を実践してみたいということでした。

委員：参加者の想定は何人だったのでしょうか。

団体：20名を想定していました。

委員：参加者は9名だったが、参加者が何人まで対応可能だったのでしょうか。

団体：参加者が20名でも対応可能であったが、10名くらいだと参加者同士が互いの様子がわかるので丁度よかったと考えています。

委員：この活動のゴールについて教えてください。

団体：今後のアクションプランを立て、継続していきたいと考えている参加者がいるので、継続してサポートしていきたいと思います。また、それに伴って仲間集めをしたいと考えています。

II 特定非営利活動法人パートナーシップなとり（協働する課：環境共創課）

名取市協働提案事業の事業報告書及び実績を示す写真及び名取市協働提案事業評価シートに基づいて報告プレゼンテーションを行った。

<質疑応答>

委員：墓地公園に行くには、どのような手段がありますか。参加した子どもたちはどのようにして来たのか。

団体：親子イベントだったので、車で来ました。場所は、閑上から海の方へ1キロくらいのところにあり、なとりん号で行くことができます。

委員：外周1キロに10個の距離標識は、どのように設置しているのか。また、耐用年数はどのくらいか。

団体：距離標識本体をポールに埋め込み、それを地面に設置している。本体がプラスチック製なので、10年20年はもたないが、1～2年という短期間ではなくそれ以上はもつと考えている。また、時々見回りたいと考えている。

協働する課：今回市民墓地公園を活用した事業を実施していただいた。市民に対する認知度を正確に捉えてはいないが、常駐している管理人が距離標識を設置した後に園路を歩く人が増えたと言っており、良かったと思っている。また、風揚げは天気恵まれ、子どもたちからまたやりたいという声も聞かれ、担当課としては、このような使い方もできる場所であると知ることができ、良かったと思っている。

団体：この事業を実施するにあたり、協働する課や市民協働課の皆さんに非常にお世話になり、準備やイベントを一緒に行うことができ、まさに協働できたと思っている。

-----以下 非公開-----

4 議 題

(2) 令和6年度採択（令和7年度実施）名取市協働提案事業評価審査

5 その 他

<委員から一言>

6 閉 会

令和 8 年 1 月 29 日

委員長 秋月高太郎

